

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月24日

計画の名称	避難所となっている小中学校等周辺地域における避難路・通学路の交通安全対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	牛久市												
計画の目標	小中学校等周辺地域において、災害時に安全に移動するための避難路の改善や児童・生徒の登下校時の道路環境の安全対策を実施するとともに、防災機能や地域コミュニティの活性化に資する公園等の利便性を向上させ、安全安心な地域づくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	522	A	445	B	0	C	77	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	14.75	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	R2末	R4末
1	防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 エリア内における通学路交通安全プログラムに掲載された対策が必要な箇所（24箇所）の改善箇所数	0箇所改善	10箇所改善	16箇所改善
2	避難所運営マニュアルに基づき、避難所（小学校8箇所、中学校5箇所、高校3箇所）ごとに市職員、教職員、関係行政区民での避難所運営訓練を実施する。（H29年度は6箇所を実施。H30年度は10箇所を実施予定） 避難所運営訓練の実施箇所数	6箇所	16箇所	16箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	地区公共施設等整備	歩道整備 2路線、路側帯整備 3路線	牛久市						445		-
											小計						445		
											合計						445		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道116号線	側溝蓋かけ L=400m	牛久市						7	-		
		基幹事業の施設整備に併せ、通学路における歩行スペースの確保を図る。																		
	C13-002	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道1号線	道路照明灯設置 3基	牛久市							3	-	
		基幹事業の施設整備に併せ、公園に近接した交差点に道路照明灯を設置することにより通学路の安全を図る。																		
	C13-003	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道3042号線	歩行者用照明灯設置 5基	牛久市							1	-	
		JRアンダーパスの歩行者通路に照明灯を増設し通学路の安全を図る。																		
	C13-004	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道3206号線	側溝整備 L=160m	牛久市							18	-	
		側溝等の排水施設が無い通学路に側溝を整備することにより通学路における冠水被害の解消を図る。																		
C13-005	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道924号線	防護柵整備 L=100m	牛久市							4	-		
	高低差のある通学路において防護柵を整備することにより児童の転落を防ぎ、通学路の安全を図る。																			
C13-006	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道2号線	歩行スペースの確保 一式	牛久市							9	-		
	中学校に近接したカーブの箇所において、道路用地の余剰地を利用し歩行スペースを確保し、通学路の安全を図る。																			
C13-007	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市内通学路	区画線設置・路面標示 一式	牛久市							29	-		
	市内小中学校周辺の区画線及び路面標示を設置することにより、車両からの視認性を向上させ、通学路の安全を図る。																			
C13-008	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市内通学路	避難路照明灯設置 32基	牛久市							2	-		
	避難所となっている小学校通学路において避難路照明灯を設置し、災害時・下校時の移動や周辺環境の安全を図る。																			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-009	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	神谷公園1 給排水設備 設置	給排水（水道）設備設置	牛久市						1	-	
		災害時に給排水できる公園の防災性・利便性の向上及び地域コミュニティの活性化を図る。																	
	C13-010	都市防災	一般	牛久市	直接	牛久市	-	-	市道3088号線	道路照明灯設置 3基	牛久市						3	-	
		国道6号と駅を結ぶ市道の交差点に道路照明灯を設置することにより、避難路や通学路として、安全確保や視認性向上を図る。																	
											小計						77		
											合計						77		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
牛久市において当該社会資本総合整備計画の関係課にて事後評価を実施	令和5年8月
	公表の方法
	牛久市HPに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備、路側帯整備を実施したことにより、安全に避難できる人口を増加させることができた。</li> <li>・避難路の整備を行ったことにより、避難所（小学校8箇所、中学校5箇所、高校3箇所）にて避難所運営訓練を実施できた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も補助金等を活用し、小中学校等周辺地域において、災害時に安全に移動するための避難路の改善や児童・生徒の登下校時の道路環境の安全対策を実施し、安全安心な地域づくりを実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	エリア内における通学路交通安全プログラムに掲載された対策が必要な箇所（16箇所）の改善	
	最終目標値	16箇所改善
2	最終実績値	16箇所改善
	避難所運営訓練を16箇所にて実施	
	最終目標値	16箇所
	最終実績値	16箇所